

令和5年12月吉日

精密工学会会員の皆様へ

公益社団法人精密工学会
会長 藤嶋 誠

公益社団法人精密工学会は90周年を迎えました。2024年1月の精密工学会誌を90周年記念号として刊行し、2024年3月の春季大会中に90周年記念行事を実施する運びとなりました。精密工学会がこの長きにわたり日本の幅広い分野の精密工学に関連する技術進歩を支える重要な役割を果たすことができたのは、歴代の会長、理事ならびに会員が一丸となって活発な活動を継続してきたからです。

しかしながら少子高齢化などの影響を受け精密工学会でも他の多くの学会と同様に会員数の減少が深刻な問題になり、更に財政も非常に厳しい状態であり、財政の健全化を緊急に実施する必要があります。

そこでこの1年間理事会WGで財政健全化と、会員の増加について検討を進めてまいりました。財政の健全化については理事会、業務執行委員会で承認され、会員の皆様に厳しいお願いをせざるを得ないことになりました。具体的には個人会員、賛助会員の増強を図るとともに、下記のような収入増の方策を実施してまいります。

- 1) 春秋の大会参加費の値上げ（学生会員を除く）
- 2) 精密工学会誌の論文掲載料の値上げ（学会誌冊子版への論文掲載）
- 3) 会員以外が購読する精密工学会誌定期購読費の値上げ
- 4) 名誉会員等の春秋大会懇親会の無料参加の廃止

精密工学会が次の100周年、更に未来に渡り日本の精密工学に貢献し続けるために、財政の健全化は必ず成し遂げねばならない課題です。今後、学生会員や若手会員とのネットワーク構築の場の提供など会員サービスの向上を図ってまいります。皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。